

2021年6月1日

## 西宮つとがわY M C A 保育園 6月えんだより

年 主 題 『共に喜んで ～すべての歩みの中～ 』

年主題聖句 「一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、  
一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです」  
＜コリントの信徒への手紙Ⅰ 12章26節＞

明日はどんな服装をしようか、どうやって子どもを送っていくか、洗濯はどうしようと天気のこと  
で思い悩む季節になりました。天気予報の精度は私が子どもとこのころには想像できないほどの確  
雨が降るのか降らないのか、いつから降るとい時間すらほぼ間違いがないようになりましたが、そ  
れでも気持ちは落ち着かずどうなるだろうか、どうしようか悩ましいことだと思います。

気候の変わり目は子ども達にとってもいろいろな影響を与えます。朝夕の寒暖差が大きくなったり、  
急に暑い寒いがあったり、気温だけではなく湿度の変化も大きいと、やはり体調を崩しやすくなりま  
す。夏や冬の前のこうした変化の多い時の方がぐずったり、発熱したり、子どもの体調の変化に十分  
注意しないといけないと保育の場面では感じています。しかし体調でだけではなく、身体感覚にも  
変化が見られます。味の感じ方、風の強さや自然の匂い、山の木々の色づき、大人でもでしょうが子ども  
はより敏感に変化を感じているのではと思わせられるようなことによく出会います。散歩の途中、何  
の変哲もない草にいろんな形があってそれを面白がり足を止めるのも、大人から見れば雑草のかたまり  
に見える中にも小さく咲いている花やそこに集まる虫を見つけるのも、そうした子どもが生まれな  
がらに持つ感性～センスオブワンダーが、まさに身を自然に委ね、自由に「今」を感じるようにいざな  
ってくれているのでは、と常々思われています。

大人の私たちは、天候のことだけでなく、お金のこと、人間関係、人生のこと、いろんなことにとら  
われ、思い悩んだり悲観的になったり、悔んだり時には人をうらやましがったり、気持ちの置き方で  
自分勝手に苦しむことが往々にしてあります。先を憂いて今備えることも必要ですが、時には子ども  
に倣って「今」を大切に感じる、「今」与えられていることを感じ喜ぶことも必要ではないでしょうか。  
子どもとともに楽しみ喜ぶ、そんな時間を大切にできればと思います。

6月の聖句 「野原の花が、どのようにして育つのかを考えてみなさい」  
＜ルカによる福音書12章27節＞

6月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	動きだす	動きだす
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 探索活動を楽しむ</li> <li>* のびのびと体を動かしてあそぶ</li> <li>* 保育者にうけとめてもらいながら自分を出して過ごす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 遊びやトラブルを通して、互いに相手の気持ちや考えを探ったり、自分の気持ちを伝えようとする</li> <li>* 自然の不思議さに目をとめ、関心を持つ</li> </ul>
賛美歌	このはなのように	